

河井蒼龍窟に導かれた寅太

外山脩造生家十八代 外山範茂

「世の中は大変面白くなってきた。寅や何でもこれからの事は、商人が早道だ、思い切って商人になりやい」河井継之助のいまわのきわの言葉の一節である。寅は外山脩造である。

河井継之助傳の著者、今泉鐸次郎が語るには、脩造は河井蒼龍窟に愛された人で、蒼龍窟の大崇拜者であった。戊辰当時、寅太といって、絶えず蒼龍窟に随従して居った。脩造氏を知るに至ったのは、河井傳の著作に従事してからで、蒼龍窟の行事を聞くべく、脩造氏の上京の機会に、我が輩も上京し、毎夕、日本橋倶楽部で晚餐を一緒にしながら、話を聞いたので十一日間を費やしたのが、その始めである、と語っている。

継之助に随従し、高邁な思想・信条に接し親炙した外山脩造は、明治二年、慶應義塾に入り、語学を身につけ、大蔵省に入る。「簿記整理法」の翻訳に携わり、全書の意味を会得



河井継之助記念館
友の会会報
第38号
2025.10

〈編集・発行〉
河井継之助記念館友の会
新潟県長岡市長町1丁目甲1675-1
〒940-0053
Tel.0258-30-1525
Fax.0258-30-1526

〈編集人〉
荒木法子 恩田富太
三条雅美 棚橋智仁
山田明 友の会事務局
〈構成・印刷〉
高速印刷株式会社



松方正義からの理事任命書

し簿記を理解する。技量が認められ、銀行課に配属される。業務に精通し、銀行検査等で第一国立銀行へも出張する。渋沢栄一と知り合い、のちに渋沢から地方の国立銀行へと勧誘される。大蔵省では昇進はするが、脩造には、藩閥の擁護もなく、仮にも朝敵とみなされ、将来の発展は期待できない。「時勢はやがて一変する。将来の成功の近道は商人にあり」蒼龍窟の遺言を実践する。



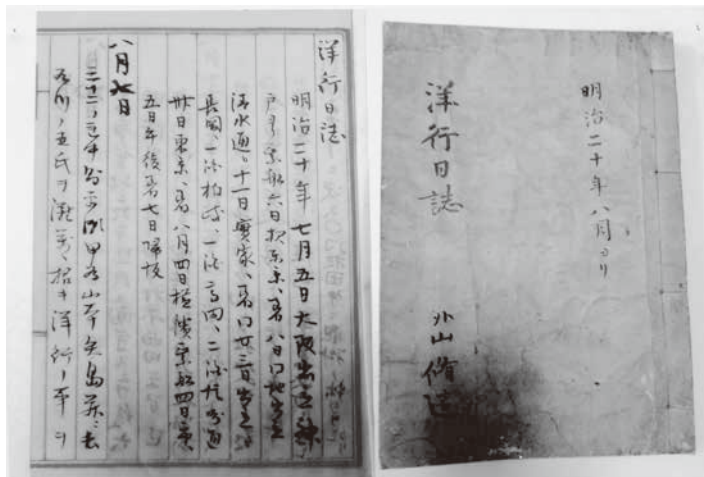
外山脩造

明治十一年大蔵省を辞め、大阪第三十二国立銀行へ総監役として、渋沢栄一・五代友厚の後見で従事。継之助の改革を断行してきた姿を身近で見てきた脩造は、紊乱きわめた大阪第三十二国立銀行を、数年で、全国国立銀行の模範となる銀行にする。明治十五年日本銀行が開業されると、初代理事大阪支店長に推挙され就任、三年後脩造は、業務方針をめぐり、日銀は日本銀行たる方針を取るべきと主張するが、上司と意見が合わず辞表を出す。二年間静養し、継之助のできなかった洋行を企図する。私人として、明治二十年九月から明治二十一年九月まで、一年間欧米周遊の商工視察を实行。計画を知り大阪財界の藤田傳三郎からは、同志と共に電燈事業をおこす計画があり、電燈の調査をしてきてほしいと依頼され、堺の醸造家鳥井駒吉からは、麦酒業の調査を依頼される。

米国では、藤田との約束を果たさんと苦心の末、米国に電氣

研究で来学していた岩垂邦彦を紹介され、数日間行動を共に調査する。調査後、脩造は藤田に岩垂を大阪電燈に招聘するように勧告、技師長として迎えられる。のちに、岩垂は日本電氣を設立する。麦酒では大阪麦酒が設立された。

脩造は、海外滞在中、石油・銀行・保険・鉄道等の諸事業を視察し、帰国後いくつかの事業をおこす。新しい時代の到来を予測した継之助に親炙し導かれた脩造「蒼龍窟ならどうする」終生、仰慕するは河井蒼龍窟である。



外山脩造の『洋行日誌』

教えて 舞台裏！

南中学校1年生が演じる 「幕末長岡三傑劇」 河井の生涯

毎年、長岡市立劇場を満員にして上演される南中学校1年生による「幕末長岡三傑劇」をご存じだろうか。台本作りから出演、照明・音響まで学年全員で力を合わせて作り上げる一年の歴史学習の集大成。今回は昨年度発表を行った二年生の生徒たちから、作品作りの過程や劇への想いを館長・中田が聞いた。

河井継之助記念館 館長 中田仁司（以下、

館長）／本日は総監督の北原さん、河井継之助役の白石さん、裏方代表として衣装係の中山さんから「幕末長岡三傑劇」の舞台裏を伺います。皆さん、夏休み前の忙しい日の放課後にありがとうございます。早速ですが、「幕末長岡三傑劇」とはどんな劇ですか。

総監督 北原さん（以下、総監督）／南中学校の一年生が、幕末から明治期に長岡で活躍した、河井継之助、小林虎三郎、三島億二郎の「三傑」について学び、その成果として台本作りからキャスト選定、照明、衣装、音響までを学年全員で行い、毎年、長岡市立劇場で保護者や一般の方が見守るなか発表しています。今年のテーマは「長岡を創る麗しき三人の星」。「三傑が成し遂げたことが、今の長岡をどのように形作ってきたか」「三傑は長岡にどんな思いをもって行動したのか」を劇の中で表現しようと、学年全員で頑張りました。

館長／三傑が主役の劇ですが、毎年、内容が違いますよね。

総監督／はい、毎年その学年の色が出るように脚本係が工夫しています。私たちの学年には、それぞれの個性が輝くようにとい

う意味を込めた「星麗（せいらい）」という

呼称があります。この呼称にちなんで劇のサブタイトルは「長岡を創る麗しき三人の星」にしました。劇のエンディングで、南中の脚本係の役と三傑の霊たちが出てきて「僕たちの想いを受け継いでくれたんだね」と言葉を交わす場面や、三傑が長岡を良くしようと考えたシーンが特徴的で、三人それぞれの個性が光る場面になっています。

河井継之助役・キャスト係係長 白石さん（以下、河井役）／子どものころのシーンでは、性格が出るようなセリフがたくさんありました。小林虎三郎と三島億二郎は先生の意見に準ずるタイプですが、私が演じた河井継之助は「おれはそう思わない」と意志が強いことが伝わりやすいシナリオになっています。

衣装係係長 中山さん（以下、衣装係）／衣装でも、三傑それぞれの個性が光るように衣装を考えました。例えば、戦場の場面で河井の衣装は、周りの兵士よりも目立つように兜や剣を際立たせました。

館長／昨年十一月には河井の人となりについて記念館で学んでくれましたね。
河井役／河井の生涯が書かれた年表を見て、

私たちが
答えました



総監督
北原さん



河井継之助役
キャスト係係長
白石さん



衣装係 係長
中山さん

こういう生き方をしていたんだと知ることができました。シナリオや配役を決める前でしたが、その時から河井役がやりたかったので、河井の銅像を見て、見た目や身に着けていたもの、持っていたものを具体的にイメージすることができました。

総監督／河井継之助直筆の手記を見たり、山田方谷との関係を知ったり、インターネットでは知れない情報がたくさんあって、大変勉強になりました。

館長／配役や担当はどのように決めたのですか。



生徒たちが河井の生涯を学びに来館した

緊張感あふれる小千谷談判のシーン

衣装係／衣装係のリーダーはとても人気で、たくさんいたやりたい人の中から選出されました。男女で衣服の着方が違うことを学んだし、履物や小物まで当時の服装を調べるのがとても面白かったです。もともと学校に保管されていた衣装を確認して、配役の体形に合うものを探して、壊れていれば裁縫道具を使って直して、着付けの練習もしました。



衣装係は一人ひとりに着付けをしてサイズを確認

河井役／三傑の役は五、六人が立候補をしました。三人それぞれのセリフを覚えて、脚本係の前で発表するといったオーディションがあり、私が河井役になりました。実は小学校の頃に行った劇でも、河井役をやったのですが、正直その時はセリフを覚えるので精いっぱい、河井のことを追求できていませんでした。それから河井のことを調べていたら、幼少期の頃わんぱくだったことを知って、周りのみんなが「やれば」と背中を押してくれました。また、

河井の意志を貫く性格が自分と重なる部分があったて立候補しました。

館長／良い劇に作るために、苦勞したところを教えてください。

河井役／小千谷談判のときに河井が冷静なか動揺しているのか表情がよく分からなくて、どういう雰囲気だったのかを知りたくて、休みの日に小千谷の慈眼寺に行って、音声を聞いたり、実際に部屋を見たりして、河井の心情をイメージしました。あと、岩村精一郎が年下なのに態度がでかいなと思いました。

衣装係／はじめは全員に白足袋を履かせていたのですが、当時はお坊さんなど身分が高い人しか白足袋を履かないことを知って、三傑も幼少期は白足袋を履かせないことにするなど、全体的に衣装を見直しました。また、戦の時に履いたわらじは担当の先生が全員分編んでくれました。本当にすごい先生だなと思いました。

総監督／全体の進行などの確認も行うのですが、昼休みや放課後に「何幕は練習が足りないんじゃないか」と各幕の脚本係と話したり、脚本係の指示がいまいちだと、キャストの人たちがよい演技ができないので、演技指導の小林へろ先生からアドバイスを受けて、指示の仕方を変えたりしました。場面の背景になる映像の確認をして、イメージよりも現代っぽかったので「もっと田舎っぽい風景に」と変更をお願いしたりしました。

館長／今回の三傑劇を通して伝えたかったことを教えてください。

総監督／河井継之助、小林虎三郎、三島



小林へろ先生を講師に迎え繰り返す舞台稽古

億二郎、この三傑がいなければ今の長岡はない、三人が復興に携わってくれなかったら、今より貧しかったかもしれない。劇のエンディングには「星麗」（学年の呼称）にかけて「これからの長岡を私たちが麗しい星のように輝かせていきます」と伝えていきます。

河井役／小千谷談判を経て「河井のせいで戦になった」という考えと「それでも河井は頑張ってくれた」という考えとで、民衆の意見が分かれるシーンがあるのですが、河井が武装中立を主張したのは、ただ戦を回避したいのではなく、民衆を守るためにふるさとを守るために行ったのだということを伝えたいです。

館長／河井継之助の生きざまから学んだことを教えてください。

総監督／普通に考えたら降参をしたかもしれないところ、あえて武装中立を狙うなど、

河井の判断は大胆。ぼくは割と慎重になりがちなのですが、河井の生きざまを知って、時には大胆な決断が事態をいい方向に向かわせることがあるのだと気づきました。

河井役／河井は柔軟な考え方をもちつつも、自分の意見を貫く芯のある人で、意見に惑わされないことも重要だけど、人のためにできることを探す頭のいい人だから、自分も見習いたいと思いました。

衣装係／河井はすごく努力家の人なんだなと感じて、ぜひ真似をしたい、一つの目標を決めてやっていける人になりたいなと思いました。

館長／今、中学生の皆さんが力を合わせて一生懸命一つの劇を作り上げてくれて、河井の生き方や性格について学んで、未来を作るために努力する人間になっていきたいとか、柔軟な頭を持ちつつも芯を貫いていきたいと考えてくれたことがとてもうれしく思いました。

総監督／今年度も3月にぼくたちの後輩の純凜学年が、「幕末長岡三傑劇」を行う予定です。ぼくたちの脚本とはまた違う、純凜学年らしい三傑劇に仕上がるはずなので、ぜひ注目して下さい。（荒木）



特別展示

「河井継之助が小山良運に宛てた書状」開催中

藩医小山良運と河井継之助は同年齢の幼馴染である。小山良運は、緒方洪庵の適塾で医学や洋学を学び、西国を遊歴した。継之助とは開港論・藩政改革論も同じ主張、刀剣の趣味も同じであったことから非常に親密で互いに兄事した。

当館では令和七年五月一日から令和八年一月二十六日まで継之助が良運に宛てた書状を三期に渡り公開する。今回は第一期で公開した書状の三通について紹介する。

●三月二日の書状

この書状は、前半は継之助の足の腫れ物が化膿して膿が出ている等の症状や、藩

医阿部宗達

から治療を受けていることが書かれている。

後半では、継之助が良運からの書状に記されていた困りごとに関感し、良運の体を心配するお互いの信頼関係が読み取れる。

小山様 河井排

昨朝手紙を呈上願ひ貴族候に
懸り候第一腫物自然破れウミ流出
ウミモ思ひ出懸候之間押出し居申候
右ハ早速可報告之処知二も前
蒙御免候是通相心二御座候
何卒今日も是候様度候通し
さへあれハ胃腹七痛ニ而食七進候様ニ
御座候登八鼓阿宗来訪破口へ破リ
ヲ差しウミ更ニ無量氣立チ宜ク申候
今朝ハ横ノ末安勢ヲ餘程出し候様
御座候下ノ努モウミニなり居候様ニ御座候
何卒此上ハ一部内ハ毛七角
外江波及せざる様祈念いたし候
舌色ハ免角屋りも不到阿宗ハ
薄なり候申候得共はとも不到候
寝食共此而後ハ少し御座候
夜分ノ熱氣在る事候之候
只々氣分之悪數ニハ困居候
擬自分之事而巳申居
貴兄も御不出来之由如何候
御案事上候折角御座候
願上候自分之氣六ツ數二而も
御案事上候貴族候等ト而
別而御座候様ニ御座候
三月二日
始終手紙ヲ書二枕之終御考（一）

●五月二十二日の書状

この書状は、前半で小山良運が刀の「鰐」や「目貫」を持つてきてくれたお札が述べられている。継之助と良運は刀剣の趣味が一致していたことを裏付ける記述である。

肝ふ好むは是利今知とあが
ふ忘却ればは腹立とや行

また、「妻めが」と蒸剤を忘れたことを強くせめていて驚かれるかもしれない。しかし、その背景には、自らの体調が芳しくないなか、頼り、妻に対する信頼も伺うことができる。

小山様 河井排

拝見昨夜ハのミめが先生ヲ攻撃
いたし候由咄々御防戦御困苦
御案事上候態々之御使鎧目貫
等迄為御持被成下恐入候過刻も申上
候通出ハ至極幸ニハ候得共御無理ハ
聊不期望蒸剤今朝も妻めが
又々忘却如此努腹ノ立も無理テなし
乍失禮御使江託し差上候御請迄
勿々不備
五月廿二日

●二十四日の書状

小山良運が持つてきた「鰐」や「目貫」を継之助が選定した結果が記されている。『越中国（現富山県）宇多派の刀工が作刀した「小身」の鍛（きたえ）に間違えないという鑑定は信じがたく、たとえ傷がなくても全体の焼刃を見るまでは、金をだそうとは、気が小さい私はなれないのでお返しする。所持している「赤鰐」と一緒に返したいと思うので、明日返却の猶予のお願いをするつもりである。刀装具の竹の図が描かれた縁頭（ふちがしら）を差し上げる』と記されている。二人の書状のやり取りの内容が読み取れる貴重な書状である。

小山様 河井排

御使恐入候只今花輪君
十大夫之來候是きれ至而
宜御座候又々蒸剤裁難者
御禮申上候字チ小身ハ無疑
鍛受合ハ難信候今もすくも
全體之焼刃不見ハ金ヲ出す氣ニハ
小生之弱膽不候為則返上仕候
所持之赤鰐トハ不分明日猶申上
願上候様候、則差上候御慰ニ相成候（一）
幸甚候様復
廿四日
半紙ハ是きり候
蒸剤此頃ハ出精式貼共
煎し候明日ニも解疑之品
願上候

●特別展示の感想

来館者の方から「継之助の平素の様子や人柄が感じとれる良い展示である」「本人の肉声を伝える非常に貴重なものと感じた」「人間味のあふれる内容で親しみ深く感じた」「やさしい字体で継之助の人物がよくわかる」「峠で読んだ通り二人は気のおけない間柄であることが書状を通して知れた」「ここに来ないと知ることのできなかつた息遣いを感じる」とができた」などのコメントを頂いた。

第二期は、七月三十日から十月二十七日まで、第三期は十月二十九日から令和八年一月二十六日までである。特別展示を通して新たな継之助の人間像を深める機会となれば幸いです。

（中田）



館長から展示の説明を受ける子どもたち

館長が行く

牧野鋭橋をフランスへ 河井継之助の最後の願い

「今回は寒風沢島へ行きましょう」

友の会の山田さんと共に、河井継之助が牧野鋭橋をフランスに亡命させる計画の舞台へ向かう。併せて仙台に退いた牧野家藩主らが滞在した寺院も巡りたかった。長岡発六時三十四分上越新幹線で大宮へ。東北新幹線に乗り換え仙台着は九時三十分である。仙石線に乗り換え、本塩竈駅下車。十一時塩竈マリノゲートから寒風沢島へ向かう。十一時三十八分寒風沢島へ到着。長岡を出発して約五時間後であった。寒風沢島は仙台藩の江戸廻米の港として栄えた。仙台藩による日本初の西洋式軍艦「開成丸」を建造した跡地に碑が立っている。そして、日和山展望台・十二支方角石、加農砲三門を据えた砲台場跡を見学した。戊辰八月



造船所跡にて



砲台場跡にて



日和山展望台の十二支方角石

二十六日には箱館に向かう榎本武揚が幕艦を率いて寒風沢港に到着している。

継之助は、『河井継之助傳』によると「是より（八月十二日）先、会津城も長くは持つまい。その後は庄内藩と行動を共にせよ。米沢藩を頼ってはならぬ。しかし、いずれにせよ遠からず、奥羽も瓦解するだろう。かねてスネルに話をし、三千両

の支払い済みである。機を見て潜に仙台に停泊中である所有汽船に搭乘してフランスへ渡航せよ。滞欧すること数年で、天下の形勢は一変し、今日の戦敗も問題ではなくなるだろう」と花輪求馬らに告げている。死を直前にして、牧野家のゆく末を案じ、牧野家の命脈をたもつよう取り計らった。『思出草』ではスネルの汽船が仙台領寒風沢に停泊したのは九月十三日と記述がある。また、『夢の通ひ路』では十三日鋭橋様今日寒風沢へ御出立とある。スネルの汽船が寒風沢に停泊した情報を得て鋭橋は寺を出発したのだろう。『傳』では「仙台に停泊中」とあるが、実は「スネル汽船が来航した時」と解釈することができる。また、鋭橋の御供として小山良運、大崎彦助、外山寅太の名が挙がっている。小山良運は、妻へ書翰をしたため正太郎ら子どもたちのことを託している。ところが、二十四日に船の係の役人に持参した旅費を説明すると、資金不足が判明した。しかも、スネルの汽船の行先は横浜だった。よって、洋行は差し止められた。また、『夢の通ひ路』

では二十日に鋭橋様寒風沢より今夕七時過御着とあり、四日はやく戻っている。スネルは、新潟陥落の時に海路新潟を脱して酒田に至り、庄内に潜伏していた。その後、恐らく函館に往き、九月中旬頃には仙台領寒風沢港に行ったものと思われる。そして、米沢藩生糸商人と寒風沢にて取引をしている。スネルは横浜へ運んでいけば膨大な利益のある生糸や蚕種紙の集荷を待っていたと考えられる。

しかし、結果的には鋭橋のフランス亡命が実現できなかったことは後に幸いする。なぜなら、長岡藩再興の時、牧野家を嗣ぐべき男子は鋭橋以外にいなかったからである。

寒風沢島見学後、午後四時過ぎ北仙台駅到着。旧奥州街道沿いで青葉神社の近くにある光明寺、東昌寺、覚範寺、資福寺を巡った。長岡駅到着は二十一時十四分だった。

（中田）



長岡藩主が滞在した光明寺

祝！河井継之助記念館有料来館者数20万人達成！



高見副市長より代表児童へ記念品の贈呈

令和七年五月十日、有料来館者数二〇万人を達成しました。二〇万人目の来館者となったのは、校外学習で訪れた阪之上小学校の五・六年生の皆さん。記念セレモニーでは、継之助の波乱に満ちた人生を描いた映画「峠 最後のサムライ」のDVDや、長岡の名菓などの記念品を贈呈しました。代表して記念品を受け取った六年生の池田晴仁（はるひと）さんは、「三回目の訪問ですが、今回は継之助の人間性や時代背景をじっくり



阪之上小学校5・6年生の皆さん

り学びたい」と目を輝かせました。中田館長は、「この記念館は、継之助が生まれ育った地に立ち、彼の暮らしたや挫折、そして大志を知ることができる特別な場所です。これから多くの皆様にご来館いただき、継之助の不屈の精神と人間性を深く感じてほしい」と語りました。（小林）

●中田館長より

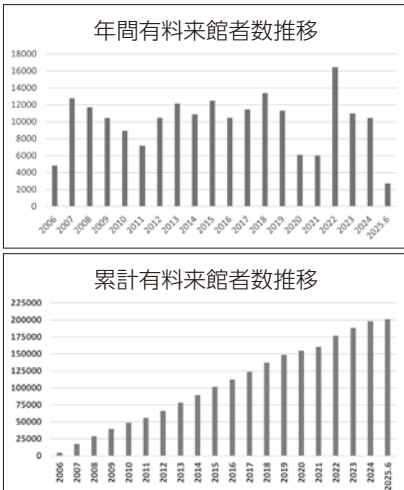
河井継之助に関心ある皆様へ

十九年間、河井継之助記念館は、河井継之助という人物を通じて、長岡の貴重な歴史とその根底に流れる精神性を全国の皆様に伝えてまいりました。司馬遼太郎氏の『峠』がその魅力をさらに広め、「どうしてもここを訪れたい」という熱い想いを抱く多くの方々にご来館いただいています。この場所は、歴史の事実を伝えるだけでなく、長岡の魂ともいえる不屈の精神を体感できる特別な場です。

今、私たちは混沌とした時代に生きています。先行きが見えず、誰もが試練に直面し、次の一手を踏み出す方向に迷う時代です。そんなときこそ、河井継之助の生き様に学び、彼と心の中で対話することで、自分にとって「何が最も大切なか」という心の柱を築いてほしいと願っています。この記念館は、過去から未来への道しるべを示す場所です。ぜひ多くの方々に足を運んでいただき、河井継之助の精神に触れ、新たな一歩を踏み出す力を得ていただければ幸いです。心よりお待ちしております。（中田）

二〇万人達成までの軌跡

左図に示す通り、例年一万人強の来館者が訪れています。二〇二〇年度および二〇二一年度は、新型コロナウイルスの影響による臨時休館のため来館者数が平年の約半分に落ち込みましたが、二〇二二年度は映画「峠 最後のサムライ」の公開効果もあり、過去最高の来館者数を記録しました。二〇二三年度からは毎週火曜日を休館日としたことで年間開館日数が減少したものの、来館者数は従来の水準をほぼ維持しています。一方、友の会会員数は五〇〇〇、六〇〇人で安定して推移しており、次なる目標として六〇〇〇人の壁を突破し、さらなるコミュニティの拡大を目指しています。（小林）



第十七回 交流研修旅行

五月三十一日、第十七回友の会交流研修旅行が開催され、二十六名の皆様に参加いただきました。

訪問先は、「北越戊辰戦争 高田藩の苦悩と決断に迫る」と銘打ち上越方面へ。

北越戊辰戦争最初の戦いの地・川浦代官所跡、前島密記念館、会津墓地、西軍墓地、衝鋒隊宿营地の東本願寺新井別院等を訪ねました。

また、昨年の開館十八周年記念講演会の講師の渡辺れいさんにもご参加いただきました。

車中や現地では、友の会会員でガイドの山田さんから詳しく解説をしていただきました。ありがとうございました。（酒井）



川浦代官所跡にて

河井継之助記念館友の会会員

阿部 あゆみ

高田藩の歴史を全く知らずで出発でしたが、バス中での山田ガイドさんの事前解説はとてもわかりやすく、去年の講演で越後の他藩の、映画『十一人の賊軍』で新発田藩の、そして今回の高田藩の苦悩の選択を知りました。会津墓地や西軍墓地を巡り、どの藩も苦悩してきたのだと、しみじみ思いました。長岡以外への旅行、新鮮で楽しかったです。

俳句を趣味にしています。最後に一句。

苔青し

墓に味方も
敵もなく



会津墓地にて

河井継之助記念館友の会会員

木山 喜明

一日トラブルなく無事終了しました。あらためてガイドの山田さんから高田藩と衝鋒隊の関係をお話しいただきありがとうございました。午後からの会津墓地、西軍墓地めぐりで北越戊辰戦争の事後処理に差があることに悲しみを感しました。争いごとのない世の中を切に願います。

小学生向けの夏休み企画 学びひろく・かたばみ講座

八月七日に「学びひろく・かたばみ講座」を昨年度に引き続き開催しました。

長岡市内の小学校の児童一八名、保護者一五名のご参加をいただき、幕末の長岡藩、継之助の生き方にふれ、学んでいただきました。「クイズラリー」では、館内を回り、展示物に注目してもらいながらクイズに答えてもらいました。事前にあった館長からの簡単な説明も大きなヒントになったようです。またクイズの後、全員で「しおり作り」をおこないました。児童も保護者も一緒にやってハンドクラフトに取り組み、自分だけのしおりが出来上がりました。

おとも子どもと一緒に楽しく学べ、これからもたくさんの方に来館していただける記念館にしていきたいと考えています。（小野塚）



クイズラリーとしおり作り

遠方からの客人

◆ インタビュー ◆

峯 敏子さん（栃木県那須塩原市）



令和7年6月2日

● 来館のきっかけは

実家が備中松山にあり、山田方谷記念館で河井継之助記念館のパンフレットを見つけて以来、ずっと来たいと思っていました。

● 軍事面について

中立を目指すためには「非武装ではいけない」という視点に感じました。

長岡だけにとどまらず、日本国のスケールで戦争を止めてほしいからです。

● 財政改革について

過去やってきたことを変えることは勇気が要ることです。禄高の平均化は現代日本でも行っている。

農家・職人両方を大切にしようとした継之助にはもっと長生きしてほしいです。

● 今の日本について

「民は国の本 吏は民の雇」の精神を、今の政治家は忘れていく！」

記念館近況報告

▼今年、土日開催された長岡花火八月二日・三日の両日、大勢のお客様に来館いただきました。ボランティアガイドさん、中田館長にフル回転で解説していただきました。

▼河井継之助終焉の地只見町にて、命日八月十六日に墓前祭がしめやかに執り行われました。友の会星会長はじめ十一名で参列させていただきました。

▼九月九日、会津若松市本光寺にて長岡藩士殉節慰霊祭が厳かに営まれました。友の会からは星会長、中田館長が参列しました。

▼河井継之助一筆箋二種（各六百六十円）を八月一日より受付にて販売開始いたしました。

▼河井継之助記念館公式X（旧Twitter）の運用開始から一年が経ちました。イベント情報他河井継之助に関連した史跡の紹介などを投稿しています。皆様からの反応が励みになりますので、ぜひフォローをお願いいたします。（下記二次元バーコードからXの当館ページへアクセスできます）



記念館には、年間約九百人の市内小中学校の児童生徒が校外学習で訪れています。当館はこれからも河井継之助の生涯を通して長岡の魅力を伝えていきます。

子どもたちとともに歩む活動について

| 月日 | 団体名 | 学年 | 参加人数 | 活動 |
|------|--------------|-------|------|----------------------|
| 5/10 | 阪之上小学校 | 6年生 | 23 | 館内見学と説明、20万人達成記念式 |
| 5/23 | 川崎小学校 | 6年生 | 66 | 館内見学と説明 |
| 5/30 | 宮内小学校 | 6年生 | 79 | 館内見学と説明 |
| 5/30 | 新町小学校 | 6年生 | 23 | 館内見学と説明（グループでの分散見学） |
| 6/18 | 中島小学校 | 6年生 | 26 | 館内見学と説明 |
| 6/19 | 新町小学校 | 6年生 | 56 | 小学校への出張授業「河井継之助について」 |
| 6/27 | 上越教育大附属中学校 | 2年生 | 50 | 館内見学と説明 |
| 8/7 | 学びひろく・かたばみ講座 | 1~6年生 | 18 | クイズとワークショップ |

河井継之助記念館 友の会について

会員の交流や情報交換を通して継之助について学び親しみ、記念館を応援する会です。

●会員数／正会員 481名 協賛 41名 小・中学生 3名 顧問 2名
合計 527名

●特典／①入会時に徽章贈呈 ②友の会会報「峠」配布
③交流研修旅行の案内・参加 ④催事案内・参加

●入会手続き／（入会金千円が必要となります）
①申込書に入会金と会費を添えて、事務局へ持参。
②申込書を事務局へ送り（郵送、FAX）、入会金と会費は銀行振込または郵便振込で納入。（手数料は本人負担となります）

会員募集中

●会費／※会計年度は3月31日まで
・入会金／千円（新規入会時のみ）
・年会費／①正会員／（ア）小中学生：500円 （イ）高校生以上：2千円
②協賛会員／一口5千円（法人の他、個人でも可）

●口座について
・加入者名／河井継之助記念館友の会

・口座番号／郵便局
長岡信用金庫本店営業部 00560-9-96432
第四北越銀行長岡本店営業部 普1032829
大光銀行本店営業部 普1764663
普3011256

※郵便局の場合は払込用紙が事務局にありますのでご利用ください。

●友の会事務局／河井継之助記念館
友の会ホームページアドレス

<https://tomonokai.tsuginosuke.net/>



総会・講演会報告

四月二十六日、令和七年度友の会総会・講演会がアオーレ長岡交流ホールAで開催されました。会には市内外から七十名近い会員の出席があり、盛況に終えることができました。

総会では、令和六年度決算、事業報告の承認及び、令和七年度予算案、事業案の承認をいただきました。また今年度は役員

の改選期になりますので、会長
以下、現役員十六名の再任と、新役員（幹事）二名（三条雅美様、宮下由加里様）の承認もいただきました。

総会後の講演会では、講師に大日方純夫早稲田大学名誉教授をお迎えしました。
『民は国の本 吏は民の雇』河井継之助と小野梓をつなぐの演題でした。普段聞くことのできない貴重なお話をいただき、参加者一同有意義な時間を過ごすことができました。

（今井）

編集後記

今回から編集に携わらせて頂いています。貴重な機会に感謝です。

河井継之助記念館は訪れる度に新たな発見と学び、出会いがあるところだと感じています。庭では色々な花が咲き、季節によって違う表情が見られるところも素敵だと思っています。この会報誌を通じて継之助さんと記念館の色々な魅力を知って頂き、世代を超えて交流が深められると嬉しいですね。

（三条）

新入会員ご紹介

（令和7年2月1日～令和7年7月31日まで）

宮下 由加里 新潟県長岡市
吉田 宏之 新潟県刈羽郡
高野 陽子 新潟県長岡市
浅田 和子 新潟県長岡市
大高 恵美子 新潟県見附市
山崎 耕二 埼玉県入間市

秋山 弘道 神奈川県横浜市
稲垣 直美 神奈川県川崎市
古池 和夫 広島県広島市
柳谷 正則 千葉県松戸市
阿部 武広 宮城県栗原市
和田 幸蔵 新潟県長岡市

以上12名（敬称略）